

令和3年度(2022年3月期)

事業計画書

(2021年4月1日から、2022年3月31日まで)

令和3年度(2021年4月1日から2022年3月31日まで)の主要事業計画を下記の通り策定し、推進を図ることとします。

記

1. 公益事業支出： 予算 10,724 千円

(2021年3月期通期見込比 <以下「2020年度比」> +2,078千円)

令和3年(2021年)度の公益事業は、2020年度と同様に、機関誌『タイ国情報』の発行、書籍刊行、講演会開催、日本語書籍寄贈、図書館運営の5事業を実施し、これら公益事業への支出を合計 10,724 千円(2020年度比 +2,078千円)とする計画です。個別の事業計画は、以下の通りです。

(1) 機関誌『タイ国情報』の発行： 予算 5,248 千円(2020年度比 +808千円)

タイ中央銀行(BOT)は、2020年のGDP成長率予測について、個人消費と輸出の改善を主因として、△6.6%へ修正(9月時点：△7.8%)しています。今後の経済回復に関しては、短期的には、新型コロナウイルスの感染拡大をいかに早期に抑え込むか、長期的には、新型コロナ対策を前提とした観光関連産業の復興、加えて、失業者の増加している労働市場の改善などが必要要件であるとの見解を示しています。

タイの政治は混迷しています。昨年7月下旬以降、都市部バンコクのみならず、地方都市に於いても学生を中心とした反政府デモが連日の

ように行われていました。学生たちは、プラユット政権の非民主性や汚職体質を糾弾し、憲法改正や首相の辞任を要求しています。8月以降は、タイ政治最大のタブーとされる王室批判が公然となされるようになりました。

社会面では、タイ政府は、新型コロナウイルス対策の活動制限を再強化する方針を発表しています。タイは国内感染を比較的抑制してきましたが、2020年12月以降に再拡大しています。

2021年度も、タイの政治、経済、社会から文化、生活に至るまで、幅広い内容を採

<年度毎の平均ページ数と直接費用>
2020年度は見込み、2021年度は計画

年度	平均ページ数	直接費用(千円)
2011年度	148	4,256
2012年度	151	4,071
2013年度	149	3,829
2014年度	156	4,148
2015年度	165	4,362
2016年度	136	3,590
2017年度	119	3,672
2018年度	131	3,767
2019年度	130	3,913
2020年度	120	2,700
2021年度	130	3,300

(注) 直接費用 = 印刷製本費 + 諸謝金 + 通信運搬費

り上げ、且つ、タイムリーなテーマや実務に役立つ内容を織り込んで、読者のニーズに答えられるよう、執筆者と相談しつつ、記事の質の向上を目指します。

また、若手研究者の研究成果の発表の場としても位置付け、新たな執筆者を開拓し、記事の裾野を広げます。他方、1冊あたりのページ数は120ページ前後を目途とし、印刷製本費や通信費の削減に取り組みました。また、執筆者のご理解、ご協力を頂戴し謝金の見直しを行いました。

引き続き、研究活動において参照される機会が増加するよう、大学などの研究室・研究機関へ納本（合計150ヵ所程度）して参りました。書店、協会ホームページ、講演会などを通じて、広く一般の方々への有料配布も継続して参ります。

(2) 書籍刊行事業： 予算 875 千円 (2020 年度比 +369 千円)

2020年度の書籍刊行実績はありませんでした。機関誌『タイ国情報』に連載した記事を『タイ国情報選集』として書籍化し、発行する企画もあり、そのための書籍刊行費用として今期も875千円を計上しております。他方、茲許、東南アジア関連の出版社により刊行するケースが太宗であることから、今後、当協会が出版元となる刊行事業の継続については見直しを行う状況にあります。

(3) 講演会・セミナー事業： 予算 1,194 千円 (2020 年度比 +254 千円)

2020年度は、以下の内容で計2回の講演会を開催しました。

・2020年11月17日(火)

亜細亜大学アジア研究所教授

大泉 啓一郎 氏

【講演テーマ】「ポストコロナのタイを観る3つの視点」

・2020年9月25日(金)

国土館大学 政経学部教授

助川 成也 氏

【講演テーマ】「コロナ禍でのタイ経済・通商政策の動向」

2021年度も、タイの政治・経済・社会・文化に関するタイムリーなテーマにて、3～4回開催する予定です。また、他の機関とも連携して、積極的に講演会の案内をして参ります。

(4) 日本語書籍寄贈事業： 予算 1,392 千円 (2020 年度比 +707 千円)

2020年度は、コロナ禍で例年通りの実施が厳しい状況ではありましたが、しかしながら、現地の国際交流基金、在タイ日本大使館などより多大なご協力をいただき、令和2年12月19日(土)、国際交流基金バンコク日本文化センター主催のオンライン日本語コンテスト「ストーリーテリング15×15」の開催に際して、弊協会が協賛し、参加した高校15校に、日本語書籍の寄贈を実施しました。今回タイの中等教育機関から15校(15チーム)、30名の高校生がコンテストに参加されました。また、大会当日は、タイ全土に広がる参加校15校と中継し、発表し、また大会の様子はYouTubeにて全

世界に配信しました。

本事業は、皆さまのご支援により開始から 11 回目を数えるに至りました。2021 年度につきましては、今もコロナ禍で厳しい環境下にあります。引き続き、現地からのお声をふまえて実施する計画です。

(5) 図書館運営事業： 予算 1,726 千円 (2020 年度比 ▲181 千円)

当協会図書館は、2008 年 4 月に戦前からの古い蔵書を含め、約 500 冊でスタートし、協会役員や会員、一般の方などからの多数のご寄贈、書籍の購入などにより、2018 年 12 月末には約 5,800 冊の規模でしたが、事務所の移転を契機に、タイに関係のない書籍や痛んだ書籍の整理を進め、2020 年 1 月末時点では約 3,400 冊になりました。

2021 年度は新刊本の購入などにより引き続き内容を充実させる予定ですが、所蔵スペースに限りがあることから、内容は厳選して対応する方針です。

(6) 公益共通： 予算 289 千円 (2020 年度比 +120 千円)

引き続きホームページを通じ、当協会の活動状況、『タイ国情報』の目次、講演会・セミナーの案内、日本語書籍寄贈事業の実施報告、図書館所蔵書籍リストなどを提供して参ります。

2. その他事業支出： 予算 835 千円 (2020 年度比 +758 千円)

(1) 親睦行事： 予算 835 千円 (2020 年度比 +758 千円)

2021 年度は、コロナ禍の終息が前提となりますが、タイ王国大使館と共催している「納涼の夕べ」を中心に企画の予定です。費用の観点から、一昨年同様の規模（2019 年度実績 414 千円）で計画しています。

3. 管理費（法人会計）： 予算 3,840 千円 (2020 年度比+884 千円)

一昨年の属託職員退職後、補充が出来ておりませんでした。2021 年 2 月に臨時職員（パートタイマー、週 1～2 日）を雇用しました。2020 年度対比では、その分が増加要因となります。協会を取り巻く環境が厳しい折、引き続き、経費節減に努めて参ります。

4. 収支予算について

(1) 経常収益： 予算 16,542 千円 (2020 年度比 +64 千円)

昨年比横ばいの計画とします。

引き続き経常収益の 90%以上を受取会費で賄う計画です。2021 年 1 月末現在の会員数は、法人会員 100 社（2020 年 3 月末比▲4 社）、個人会員 102 名（同 ▲9 名）となっています。引き続き法人会員の勧誘に注力して参ります。経常収益は、法人会員をほぼ横ばいとして計画しております。個人会員につきましては、自然体で対応し、こちらも会員数はほぼ横ばい計画としております。

(2) 経常費用： 予算 15,400 千円 (2020 年度比 +3,721 千円)

2020 年度コロナ禍で活動が抑制されたため、経常費用が減少していますが、2021 年度は例年通りの活動を前提に費用を計上します。

公益事業支出は 10,724 千円 (2020 年度比+2,078 千円)、その他事業支出は+835 千円 (同 +758 千円)、管理費支出 (法人会計) は+3,840 千円 (同 +884 千円) と、経常費用全体では 15,400 千円 (同 +3,721 千円) とする計画です。従って、2021 年度の当期経常増減額は+1,142 千円の計画です。

5. 財務会計に関する数値基準について

(1) 収支相償

- ① 公益目的事業の収支相償： 基準を充足する計画です。
- ② 公益目的事業会計全体の収支相償： 基準を充足する計画です。

(2) 公益目的事業比率： <2021 年度計画> 69.6% (2020 年度+74.0%)

基準 (50%以上) を充足するよう、引き続き、高い公益意識をもって、事業の運営を行なう所存です。

(3) 遊休財産上限額

遊休財産<遊休財産上限額 (=公益目的事業費相当額) となるよう運営する所存です。

以上

令和3年度（2022年3月期）収支予算書

（2021年4月1日から2022年3月31日まで）

<A>

<C>

[単位：円]

科 目	令和3年度 予算	令和2年度 実績見込	差異 <A-B>	令和2年度 予算	差異 <A-C>	備考
I 一般正味財産増減の部						
1 1. 経常増減の部						
3 (1) 経常収益						
4 ①基本財産運用益	1,900	1,900	0	1,900	0	
5 基本財産受取利息	1,900	1,900	0	1,900	0	
6 ②受取会費	16,040,000	16,140,000	▲ 100,000	16,980,000	▲ 940,000	
7 賛助会員受取会費	16,040,000	16,140,000	▲ 100,000	16,980,000	▲ 940,000	法人会員、個人会員ともほぼ横ばいで計画
8 ③事業収益	100,000	103,800	▲ 3,800	70,000	30,000	
9 機関誌発行・書籍発行事業	100,000	103,800	▲ 3,800	70,000	30,000	
10 講演会・セミナー事業	0	0	0	0	0	
11 図書館運営事業、他	0	0	0	0	0	
12 ④雑収益	350	350	0	40	310	
13 雑収入	0	0	0	0	0	
14 受取利息	350	350	0	40	310	
15 ⑤受取寄附金	399,340	231,744	167,596	470,000	▲ 70,660	日本語書籍購入、辞書関連特別寄付金取り崩し
16 指定正味財産からの振替	399,340	231,744	167,596	470,000	▲ 70,660	
17 経常収益計	16,541,590	16,477,794	63,796	17,521,940	▲ 980,350	
18 (2) 経常費用						
19 <公益事業>	10,724,700	8,646,366	2,078,334	11,243,117	▲ 518,417	
20 機関誌発行・復刻事業/公1	5,248,000	4,440,278	807,722	5,527,604	▲ 279,604	
21 書籍刊行事業/公2	875,100	506,455	368,645	901,635	▲ 26,535	
22 講演会・セミナー事業/公3	1,194,900	939,937	254,963	1,221,435	▲ 26,535	
23 日本語書籍寄贈事業/公4	1,391,500	684,248	707,252	1,418,035	▲ 26,535	
24 図書館運営事業/公5	1,726,500	1,906,895	▲ 180,395	1,885,708	▲ 159,208	
25 公益事業共通	288,700	168,553	120,147	288,700	0	
26						
27 <その他事業>	834,500	76,758	757,742	834,500	0	
28 親睦事業	834,500	76,758	757,742	834,500	0	
29						
30 <法人会計(管理費)>	3,840,199	2,955,772	884,427	3,670,478	169,721	
31						
32 経常費用計	15,399,399	11,678,896	3,720,503	15,748,095	▲ 348,696	
33 評価損益等計	0	0	0	0	0	
34 当期経常増減額	1,142,191	4,798,898	▲ 3,656,707	1,773,845	▲ 631,654	
35 2. 経常外増減の部			0		0	
36 (1) 経常外収益	0	0	0	0	0	
37 資産評価益	0	0	0	0	0	
38 (2) 経常外費用	0	0	0	0	0	
39 資産除却損	0	0	0	0	0	
40 当期経常外増減額	0	0	0	0	0	
41 当期一般正味財産増減額	1,142,191	4,798,898	▲ 3,656,707	1,773,845	▲ 631,654	
42 一般正味財産期首残高	35,943,395	31,144,496	4,798,899	30,851,454	5,091,941	
43 一般正味財産期末残高	37,085,586	35,943,394	1,142,192	32,625,299	4,460,287	
44 II 指定正味財産増減の部			0		0	
45 使途指定特別寄附金	399,340	631,084	▲ 231,744	631,084	▲ 231,744	
46 一般正味財産への振替額	399,340	231,744	167,596	470,000	▲ 70,660	
47 当期指定正味財産増減額	▲ 399,340	▲ 231,744	▲ 167,596	▲ 470,000	70,660	
48 指定正味財産期首残高	399,340	631,084	▲ 231,744	631,084	▲ 231,744	
49 指定正味財産期末残高	0	399,340	▲ 399,340	161,084	▲ 161,084	
50 III 正味財産期末残高	37,085,586	36,342,734	742,852	32,786,383	4,299,203	